

GE, 2015年第4四半期業績発表



- ・ インダストリアル・セグメントの営業利益と垂直分野のEPS合計は27%増の0.52ドル
- ・ 継続事業による今期GAAP EPSは26%減の0.26ドル
- ・ インダストリアル・セグメントの利益率合計**/**は、今期80ベースポイント増の18.3%、2015年度通年は110ベースポイント増
- ・ 受注高1%増（内部受注高）、受注残高は前年同期比18%増の3,150億ドルで過去最高を記録（Alstom分を除くと7%増）
- ・ 2016年のインダストリアル・セグメントの営業利益と垂直分野のEPSは予定どおりの1.45~1.55ドル

	GEインダストリアル の営業利益と垂直分野 の利益に相当するEPS	継続事業による GAAPベースのEPS	GE CFOA	GEインダストリアルと 垂直分野の売上	インダストリアル合計**		インダストリアル の利益率*
					利益	利益率*	
2015年 4Q	\$0.52 +27%	\$0.26 -26%	\$98億 +23%	\$338億 +1%	\$51億 -6% +3% 内部成長率	18.3% +80 bps	19.3% +50 bps
2015年 通年	\$1.31 +17%	\$0.17 -82%	\$164億 +8%	\$1,170億 0%	\$159億 +3% +10% 内部成長率	15.3% +110 bps	17.0% +80 bps

2015年第4四半期の決算ハイライト

- ・ インダストリアル
の今期営業利益は8%増、内部利益は1%減、
2015年度通年の内部利益は7%増
- ・ インダストリアル
の今期内部売上は1%減、2015年度通年では3%
増
- ・ 2015年度のGE CFOAは8%増の164億ドル
- ・ 2015年度のGEデジタルの売上は22%増の50億ドル
- ・ Haierにアプライアンス事業を54億ドルで売却発表。これにより、中間決算時に（顧客との決算条件により）1株当たり最大0.20ドルの利益予測
- ・ Alstom EPSの影響はなし

GEキャピタルの最新ポートフォリオ

- ・ 2015年度中に1,570億ドルの事業売却契約を締結し、予定より早く1,040億ドル分の契約を達成
- ・ 垂直分野が好調で、当四半期のEPSは0.04ドル、2015年度は0.17ドルを達成
- ・ 2015年度の親会社への配当金は43億ドル。2016年の配当目標180億ドルに向けて順調に推移
- ・ Synchronyの株式交換を11月に完了し、6億7,100万株を削減
- ・ 2016年第1四半期中のSIFI指定解除に向けて引き続き準備中

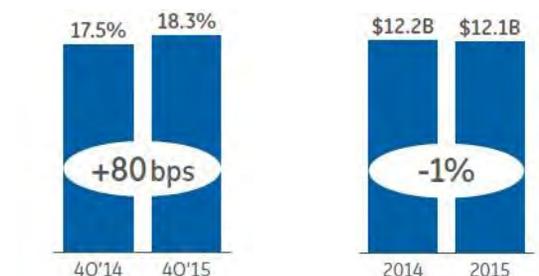
インダストリアル の1株当たり営業利益（EPS）は27%増の\$0.47 インダストリアル・セグメントの実績

2015年 第4四半期	実績	V%	内部成長率 V%
受注高	\$32.5B	+3%	+1%
売上	\$31.4B	-1%	-1%
営業利益	\$5.5B	-8%	-1%
利益合計**	\$5.1B	-6%	+3%
2015年度 1-12月			
受注高	\$105.9B	-5%	-3%
売上	\$108.8B	-1%	+3%
営業利益	\$18.0B	+1%	+7%
利益合計**	\$15.9B	+3%	+10%

業績	
インダストリアル事業の営業利益 + 垂直分野のEPS	1株当たり営業利益（EPS）



インダストリアル事業の営業利益率	インダストリアル事業のキャッシュ フロー（今年度累積CFOA）
------------------	------------------------------------



「停滞した市場環境にもかかわらず、GEは堅調な業績を達成しました。2015年度は投資家の皆様に提示したすべての目標を達成することができました。2016年度の最初の数週間は先行きが不透明になる見込みですが、2015年第4四半期の内部受注高が1%増加し、Alstomを含む受注残は3,150億ドルに達しました。GEのビジネスモデルの強みを信じており、2016年度も成長の余地が十分あると考えています。」

ジェフ・イメルト 会長兼CEO

*Alstom事業の買収分を除く **収益と事業再編分を除く

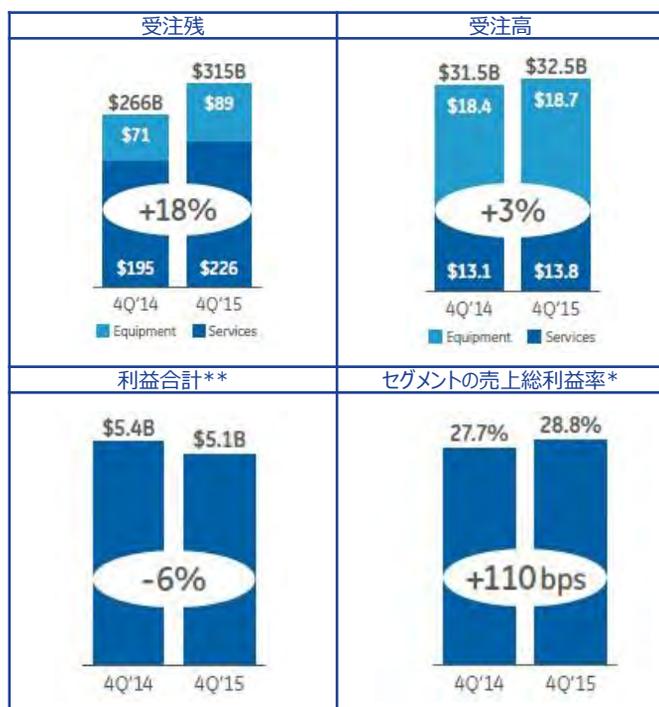
インダストリアル・セグメントの取引に関するハイライト

- トランスポーテーション：インドで過去最大規模の取引により、機関車1,000両分とサービスの提供で25億ドル分を受注
- パワー：12件のHAタービン受注（米国で5件、パキスタンで4件、アジアで3件）。受注残は33件で、それ以外に49件の技術契約件数を達成
- リニューアブルエナジー：中国のThree Gorgesから、最大4億ドル規模のAlstom水力発電契約を受注
- パワー：Saudi Electric Companyから、最大10億ドル規模の複合サイクル発電所技術契約を受注
- オイル&ガス：Cheniereから6億1,000万ドルのサービス契約を受注
- ヘルスケア：ライフサイエンス分野の受注（為替レートによる影響を除く）が8%増加し、パイオプロセスでの受注は16%増加
- アビエーション：ドバイエアショーでエンジン/サービス契約を170億ドル分を受注した他、Textron Aviationの最新の単発ターボプロペラ機への採用も決定

GEストアのハイライト

- Predix：50万台以上の画像処理デバイスを接続するGE Health Cloudの提供を開始
- Predix：Predix顧客企業15社との間で、総額1億ドルを超えるDigital Power Plantおよびソフトウェア関連契約を締結
- GE + Alstom：フランス史上最大規模の陸上風力発電契約（120 MW）
- GE + Alstom：パキスタンでAlstomの蒸気タービン技術を利用した複合サイクルプラントを3件受注
- 世界規模：インドネシアにおけるパワー&トランスポーテーション取引：4件のプロジェクト総額は10億ドル
- GRC：3D印刷および発電技術を利用した脱塩技法の設計を開始

インダストリアル・セグメントの取引に関するハイライト



*Alstom事業の買収分を除く

**収益と事業再編分を除く

2015年第4四半期GEキャピタルのハイライト

	4Q'15	
垂直分野 ランオフ/HQ	\$4億3,800万 \$ (20億5,300万)	
継続事業 非継続事業	\$(16億1,500万) \$37億2,200万	
純利益	\$21億700万	
ENI (流動資産を除く) 当初の報告内容に基づく	親会社への配当金	GEキャピタルの TIER 1普通株比率
<p>4Q'14: \$363B 4Q'15: \$82B¹ -77%</p>	\$43億 2015	14.5% 4Q'15

¹非継続事業を含むと1,670億ドル

²Basel 3 Tier 1普通株式比率は、米国の標準暫定基準に基づく

「2016年の目標である1.45～1.55ドルの1株当たり営業利益（EPS）、内部成長率2～4%、コア事業の利益率拡大、300億～320億ドルのキャッシュフロー、260億ドルの投資家への還元に変更はありません。インダストリアル・インターネット分野におけるリーダーシップを早期に強化すべく、GEデジタルを設立しました。これにより、全事業分野でソフトウェアソリューションによるデジタル化推進を目指しています。世界情勢が不透明な中、繰り返し投資を行える能力を備えており、多様性に富むポートフォリオの強みを生かしたいと考えています。」

ジェフ・イメルト会長兼CEO

2015年第4四半期の決算ハイライト

売上

売上	インダストリアル事業の売上	GEキャピタル
\$339億	\$306億	\$26億

インダストリアルセグメント

営業利益	割合増減
\$55億	-8%

営業利益

利益	EPS
\$30億	\$0.31

インダストリアル事業の営業利益と垂直分野の利益

利益	EPS
\$51億	\$0.52

継続事業によるGAAP利益 (GEに帰属するもの)

利益	EPS
\$26億	\$0.26

GAAPベースの純利益 (GEに帰属するもの)

利益	EPS
\$63億	\$0.64

今年度の決算ハイライト

売上

売上	インダストリアル事業の売上	GEキャピタル
\$1,174億	\$1,062億	\$108億

インダストリアルセグメント

営業利益	割合増減
\$180億	+1%

営業利益

利益	EPS
\$35億	\$0.35

インダストリアル事業の営業利益と垂直分野の利益

利益	EPS
\$131億	\$1.31

継続事業によるGAAP利益 (GEに帰属するもの)

利益	EPS
\$17億	\$0.17

GAAPベースの純利益 (GEに帰属するもの)

利益	EPS
\$(61億)	\$(0.61)

第4四半期の業績の詳細は
以下をご覧ください。
www.ge.com/investor

関連するチャートをGEのウェブサイトに掲載しています。
(英語版)

本書には一般会計基準 (GAAP) に基づかない財務諸表の情報も含まれています。この種のデータは、SEC基準では「非GAAP財務指標」として扱われます。こうした非GAAP財務指標は、本リリースで発表したGAAP指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここでは以下を示しています。

- インダストリアル事業の営業利益とEPS、GEキャピタルの営業利益 (損失) とEPS
- GEインダストリアル事業の営業利益と垂直分野の利益に相当するEPS
- GEインダストリアル事業と垂直分野の売上
- インダストリアルセグメントの営業利益と営業利益率 (Alstom分を除く)
- インダストリアル事業の営業利益と営業利益率 (Alstom分を除く)
- インダストリアルセグメントの売上総利益率 (Alstom分を除く)
- インダストリアルセグメントの内部売上成長率
- インダストリアル事業の内部営業利益成長率
- インダストリアル事業の営業活動によるキャッシュフロー (インダストリアルCFOA)
- 流動性資産を除くキャピタルの最終正味投資額 (ENI)
- GEキャピタルのTier 1普通株式比率予測

別紙の財務諸表には、この種の非GAAP財務指標を使用している理由と、最も類似したGAAP財務指標との照合内容が記載されています。これには、当社の財務状況、業績およびキャッシュフローを測定するうえで不可欠な情報も含まれています。本書で述べる非GAAP測定基準の照合については、当社英語ウェブサイトwww.ge.comの投資家向けセクションに掲載の別添補足情報をご覧ください。

注記：本リリースのグラフに掲載された十億ドル単位の金額は、100万ドル単位の金額に基づき算出されたものです。その結果、丸め処理の関係で、十億ドル単位の個別の金額を足し合わせたものと、十億ドル単位での合計金額が異なる場合があります。表内の特定のカラムや列の数字は丸め処理しているため、合計と一致しない場合があります。記載された割合は、基礎になっている百万単位の数字を基に計算しています。

GEの投資家向けウェブサイト www.ge.com/investor、コーポレート・ブログ www.gereports.com、当社のFacebookページおよびTwitterアカウント (@GE_Reportsを含む) にはGEに関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧ください。ご訪問を推奨いたします。

「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれており、程度の差はあれ不確実な事柄に言及しています。「将来予想に関する記述」と大きく異なるような実際の結果を生じる不確実性に関する詳細は、<http://www.ge.com/investor-relations/disclaimer-caution-concerning-forward-looking-statements>をご覧ください。Form 10-KおよびForm 10-Qの四半期決算書をご確認ください。GEは「将来予想に関する記述」を更新する義務を負いません。この文書には「将来予想に関する財務情報」、すなわち現在と将来の予測に基づく情報も含まれています。実際の業績はこれとは実質的に異なる可能性があります。

General Electric Capital Corporation (GECC) はGEに統合され、GEの金融サービス事業は現在GE Capital Global Holdings LLC (GECGH) が運営しています。本書ではGECCとGECGHを「GEキャピタル」と総称しています。GEキャピタルを含めたエクイティ・ベースでのGEのインダストリアル事業を「GE」として掲載しています。「GE (GEキャピタルを除く)」および／もしくは「インダストリアル」とは、GEキャピタルを除くGE事業を指しています。これまでGEキャピタルと呼ばれていた金融サービスセグメントは、現在単にキャピタルと呼んでいます。

本件に関するお問い合わせ
日本GE コーポレート・コミュニケーション本部
TEL: 03-3588-9500